都留高ニュース

発行所
山梨県立
都留高等学校
大月市
大月２丁目11-20
編集
都留高新聞同好会

レイラ先生ありがとう!

夏休み直前の都留高校特集号

一期一会を大切に！

長かった梅雨も明け、連日の猛暑に悩まされる日々が始まりました。今年は2年ぶりに例年通りの夏休みとなり課外や課題などもどっさり用意されていますね。さて、今月号は、故郷へ帰ってしまうＡＬＴのレイラ先生へのインタビューをはじめ、学園祭、野球応援など、盛りだくさんの内容をお届けします！今年も、素敵な夏休みが過ごせますように！

レイラ先生の職員室でのひとこま（2021年7月19日）

もうすぐアメリカに帰ってしまうレイラ先生の都留高校での思い出やレイラ先生自身のお話、都留高生への言葉などを伺ってきました。

Q1. Why do you come to back to America ？
A1. My husband wants to go to graduate school.Two years ago,he agreed to come to Japan with me because it was my dream. Now I must go back to America with him to support his dream !

Q2. What are your best memories in Tsuru High School？
A2. My best memories are always with students. I cherish moments when I can connect with them. I enjoy big moments like the school festival and I enjoy small moments like when students say hello to me in the hallway.The students are my greatest treasure. I will never forget them .

Q3. What are you going to do now ？
A3. I will work at my university’s writing center. I will help university students with their essay writing. I want to improve my teaching skills so I can help more students in the future.

Q4. A comment to Tsuru High School students please.
A4. When I was in high school I found this quote: In three words, I can sum up everything I’ve learned about life: it goes on. “-Robert Frost（**人生で学んだすべてを私はこの言葉にまとめられる。それは「何があっても人生には続きがある」ということである―ロバート・フロスト**）

In high school, sometimes I felt bad about my test scores or about bad things that happened to me that I couldn’t control. Sometimes I thought, “This bad feeling will last forever” but it wasn’t true. Life will continue and good things replace the bad times. We must try to find joy in our lives regardless of any bad situations.Students brought joy to my life when times were difficult. I want to thank you all

with all my heart ♡

今、注目の人

今回は、**2年4組の由井響さん**にお話をお伺いしました。

陸上部・由井響さん

由井響さんは、陸上部に所属し１００ｍや２００ｍ走で、全国大会に出場するなど好成績を残しています。また、準高習熟クラスに入り勉強と部活動の両立をこなしています。

Q１、県外から都留高校に来たそうですが、なぜ都留高校を選んだのですか？

Ａ１、元々山梨県に近い方の長野県に住んでいたからです。また、都留高校は陸上部が強いと聞き、都留高校なら陸上に磨きをかけてトップを目指せると思ったからです。

Q２、準高習熟クラスに所属しているということで、文武両道の秘訣などありますか？

Ａ２、都留高校の校訓にもあるように「自学進取」を意識して学習すると共に、空いているスキマ時間を有効に活用して、部活動の時は部活動に集中して活動できるようにしています。

Q３、これから頑張っていきたいことはなんですか？

Ａ３、インターハイが初めての全国大会になるのでとても緊張しますが、これからもっと様々な全国大会に出場できるように、また、全国大会で良い成績を残せるように、日々の練習を頑張っていきたいと思います。

自学進取

コロナ禍の中、民主主義がピンチだと言う。それはそうだ。行動の自由も制限され、経済活動の自由も制限がかかる。今は仕方がないかもしれないが…。宇野重規『民主主義とは何か』（講談社現代新書）では民主主義の危機を４つのレベルであげている。①ポピュリズムの台頭②独裁的指導者の増加③第４次産業革命とも呼ばれる技術革新④コロナ危機、である。そのうち④コロナ危機が先にあげた例だ。「安易にリーダーシップに期待するだけでは問題が解決しないことに人々は気づき始めています。」「独裁的な対応は一時的には有効にみえても・・長期的には選択肢を狭める結果になります」とは筆者の言葉である。では、私たちはどう現在を生き抜いたらよいのだろうか。池上彰『おとなの教養３』（ＮＨＫ出版）では「教養とは過去を未来に生かす技術」と教養（＝学校のすべての勉強）の大切さを述べている。著者はこれまで「過去を振り返り、現在を見つめ」てきたが、今回は「どんな未来を生きるのか」を６つテーマで記している。①気候変動②ウィルスと現代社会③データ経済とＤＸ④米中新冷戦⑤人種・ＬＧＢＴ差別⑥ポスト資本主義。未来が見えにくい今こそ、教養を身につけることが大切に感じる。（顧）

野球応援（観戦）ができました！

7月19日に声援なしで行われた高校野球準々決勝、応援席からの様子をお伝えします！

今年は高野連の取り決めにより各校生徒の応援は準々決勝からと決められました。そうした中でわが都留高校野球部は2回戦をコールド勝ち、3回戦は9回に劇的な逆転勝ちを収め、見事ベスト8に入りました。準々決勝の相手はシード校日本航空高校。試合は残念ながら負けてしまいましたが、公立普通科高校、ただ一校の中での善戦は見事でした。

「応援」というより「観戦」の指示の下、吹奏楽部の演奏のない中での応援は少し味気ない感じがしました。来年は学校全体で応援できることを願います。

２年ぶりに実施できた野球応援＝山日ＹＢＳ球場

都留高校生は今何を考えている？

コロナウイルスが世界に広まってからおよそ1年半。ワクチン接種が進むなか、日々感染者は増加しているため、不安な人も多いのではないだろうか。そこで今回は2年生にコロナウイルスについてのアンケートを取った。

Q１．コロナ禍においての将来は不安ですか？

Ａ１．不安39%、やや不安52%、全く不安ではない9%

◇不安の理由

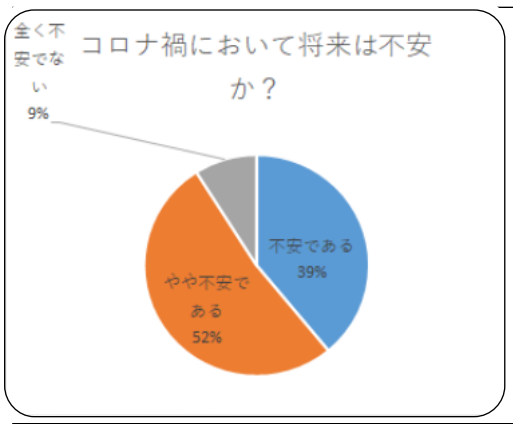
・これからの見通しが立たないから（オープンキャンパス、受験、就職など）・行事がなくなるかもしれないから・東京、山梨で感染が拡大しているから

◇やや不安の理由

・ワクチンが開発されて少し安心したから・就職に影響がでるかもしれないから

◇全く不安ではない理由

・もうすぐ収まると思うから・慣れてきたから



Q２．コロナが終息してから一番したいことは何ですか？

Ａ２．・出かける（東京、遠いところ、ディズニーランドなど）・旅行に行く・マスクなしの生活を送る・普通の文化祭をする・大人数での飲食

Q３．コロナ禍で見つけたストレス解消法を教えてください。

Ａ３．・運動（筋トレ、ランニング、ストレッチ）・音楽を聞く、歌う・寝る・友達と電話する・ドラマ、アニメ、映画をみる・ゲームをする

全体の割合から9割の人が不安を感じていることが分かる。また理由の多くが受験や就職についてで、オープンキャンパスや修学旅行の中止を心配するといった2年生ならではの理由もあった。コロナが終息してからしたいことでは外出したいという意見が最も多く1年以上にもわたる自粛生活の疲れが見られる。ストレス解消法では運動と回答した人が多く、長い自粛生活での運動不足を解消するためだと考えられる。これらの結果を受けて養護教諭の渡邊祥子先生にお話を伺った。

ー9割の人が不安を感じているという結果を受けて、どうお考えになりますか？

「ワクチンをいつ打てばいいのか、いつコロナが終息するのかなど分からないことだらけなので不安が表れているのだと思います。一部の有識者によると全てが終息するのは２０２３年だと言われているので、我慢強くみんなで協力するしかないのかなぁと思います。」

ー外出したいという意見がとても多かったのですが、やはりまだ外出は避けるべきなのでしょうか？

「気持ちはとても分かりますが、緊急事態宣言が出てしまっているので外出は自粛、というのが一般的な考え方だと思います。ウイルスは人が移動するから感染が拡大します。拡大を防ぐには人の移動を止めるしかないのですが、社会的にそれは無理ですよね。だからどのように生活とのバランスをとって人の移動を抑えるか、ということを考える必要があります。

ーこれからも継続してほしい感染対策は何ですか？

「．とにかく手洗いです。汚い手で目や鼻を触ると粘膜を通して感染することがあります。マスクの徹底もお願いしたいです。みなさんは十分徹底してくれていますが、特に気をつけて欲しいのがマスクを外す場所です。これからさらに暑くなるため、マスクを外したくなると思います。その時には外や人がいない場所で外すようにしましょう。マスクは効果的に不織布が一番良いですが人によって肌が荒れることもあるので、自分に合ったマスクをしてください。

ーおすすめのストレス解消法を教えてください。

「運動はとても良いです。ちょっとしたストレッチだけでも全く違います。また感染しない抵抗力のある強い体にするには、規則正しい生活が大事だと思います。」

ー都留高生に一言お願いします。

「十分感染対策をしてくれて素晴らしいと思います。手洗いをさらに徹底していただければありがたいです！」

まだまだコロナ禍は続きそうだが、今回の記事を参考に自分に合った方法で極力ストレスを感じずに生活できれば良いと思う。

ご考察いただいた　渡邊祥子先生

第66回若鶴祭 飛躍～切磋のわが友

若鶴祭結果発表

総合優勝

1位	2位	3位
Cブロック	Dブロック	Bブロック

動画劇

1位	2位	3位
Dブロック	Cブロック	Fブロック

仮装

1位	2位	3位
Dブロック	Cブロック	Aブロック

合同企画

1位	2位	3位
Bブロック	Cブロック	Dブロック

学級旗1年

1位	2位	3位
Cブロック	Bブロック	Dブロック

学級旗2年

1位	2位	3位
Bブロック	Aブロック	Fブロック

学級旗3年

1位	2位	3位
Cブロック	Dブロック	Aブロック

１位となった３年３組の学級旗

合同企画で１位となったＢブロックの作品